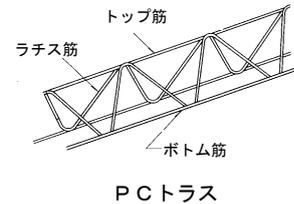
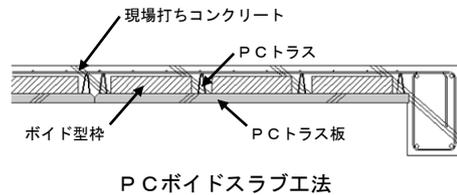
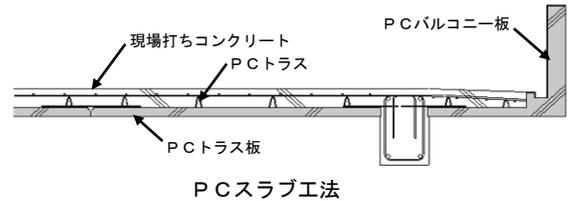


<p>【技術の名称】 PCスラブ工法・PCボイドスラブ工法 -PCトラスを用いたハーフPCa合成床板工法- (改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-05号 改1 性能証明発効日：2018年3月30日</p> <p>【取得者】 PCジャパン有限会社 那覇鋼材株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、薄肉PCa板の上に現場打ちコンクリートを打設するハーフPCa合成床板工法である。薄肉PCa板（以下、“PCトラス板”と称する）の補強、PCaコンクリートと現場打ちコンクリートの一体性の向上を目的として、鉄筋をトラス状に組み立てたPCトラスが用いられる。PCトラス板は、コンクリート打設時にコンクリート自重と施工荷重を支持し、コンクリート硬化後は現場打ちコンクリートと一体となって合成床として機能する。また、スラブ内部に中空部を設けることにより重量に比して剛性の高いスラブにすることも可能である（以下、中空部が無いものを“PCスラブ”、中空部を設けるものを“PCボイドスラブ”と称する）。



【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第17-05号 (2017年6月6日)
 改定1：GBRC 性能証明 第17-05号 改1 (2018年3月30日)
- ・長期たわみ算出時の変形増大係数の見直し
 - ・PCボイドスラブのリップ間隔仕様の追加
 - ・段差スラブの段差部補強仕様の追加
 - ・製造時にボトム筋を切断する場合の対応を追加
 - ・現場工場計画マニュアルを追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、PCトラスで補強された薄肉PCa板を工場で製造し、施工現場に搬入することで、施工の省力化と高品質のコンクリートスラブを構築することを目的に開発したものである。また、PCトラス板にボイド型枠を取り付けて中空スラブとすることで、スラブの大型化が可能となり小梁が無く空間設計の自由度を高めることが期待できる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「PCスラブ工法・PCボイドスラブ工法 設計・製造・施工指針」に従って設計・製造・施工されたPCトラス板は、同指針で規定する仮設時の必要性能を有し、かつ、同指針に従って設計・製造・施工されたPCトラス合成床板は、同指針で定める設計荷重に対して必要性能を有する。

適用範囲一覧表

(1) 建物の構造		
鉄筋コンクリート造建物、鉄骨鉄筋コンクリート造建物、プレストレストコンクリート造建物、鉄骨造建物		
(2) 使用材料		
PCaコンクリート	普通コンクリート 24以上、60以下 (N/mm ²)	
現場打ちコンクリート	普通コンクリート 21以上、60以下 (N/mm ²)	
PCトラス	トップ筋	JIS G 3112のSR295、またはSD295A
	チス筋	JIS G 3532のSWM-B
	ボトム筋	JIS G 3112のSR295、またはSD295A JIS G 3532のSWM-B、SWM-R
PCトラス用以外の鉄筋	JIS G 3112の規格に適合するSD295A、SD345	
(3) スラブ厚		
PCスラブ	150以上 (mm)	
PCボイドスラブ	220以上 (mm)	
PCトラス板	60以上、200以下 (mm)	

【本技術の問合せ先】

PCジャパン有限会社・那覇鋼材株式会社

(技術窓口：PCジャパン有限会社) 担当者：岩上正己 E-mail：m_iwakami@pc-japan.co.jp

〒307-0001 茨城県結城市結城 4355

TEL：0296-33-9111 FAX：0296-33-9112